修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　前田　寛
〒101　東京都千代田区
神田錦町1-17-1（NK第一ビル）☎03（5259）0631
振　替　00160－7－36337

財団法人全国修学旅行研究協会（全修協）は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

戊寅　1998年を迎えて

平成十年　年頭の所感

文部大臣　町村信孝

平成十年の新春を迎え、心よりおよろこびを申し上げます。

昨年九月に文部大臣に就任してから三か月半が経ちました。この間、臨時国会における審議や教育現場の視察などを通じて、国民の教育、学術、スポーツ、文化の充実に寄せる期待の大きさを実感し、決意を新たにしております。

教育はあらゆる社会システムの基盤を作るものであり、教育改革は、橋本内閣の下で、行財政改革や経済構造改革と並び、六大改革の一つとして位置づけられております。この成否は二十一世紀の我が国の社会の在り方に大きな影響を与えるものであり、国民の期待に応える改革の実現に向けて、一歩でも多く前進させていくことが私の使命と認識しております。

現在、我が国は世界に類を見ない少子高齢化の状況にあり、また、経済のグローバル化が進む中で、明日の我が国を活力あるものにするためには、教育の果たす役割はますます重要となっております。このような役割を果たすには、これまでの教育における形式的な平等主義から脱却し、子どもたちの個性を伸ばし、創造性やチャレンジ精神にあふれた「たくましい子ども」を育てる教育へと転換を図ることが必要であります。

また、国際社会の中で活躍できる優れた人材の養成と未来を拓く新しい知の創造を担う大学が、教育や学術研究の質を飛躍的に向上させていくことが、国際社会において積極的に貢献を果たしていくためにも不可欠です。

このような視点から、文部省では、教育改革プログラムに基づき広範な取り組みを進めているところでありますが、平成十年においても、その着実な推進に最大限の努力を払ってまいりたいと考えております。

（心の教育の充実）

今日、子どもたちを取り巻く状況は極めて憂慮すべきものがあり、その中で子どもたちに豊かな人間性を育てることが重要な課題となっています。私は、子どもたちが生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、美しいものや自然の感動する心などの豊かな心をもった人間として成長してくれることを強く願っています。

このためには、家庭、学校、地域社会が、一体となって力を結集しつつ、それぞれの分野で「心の教育」を充実させていくことが必要です。

まず、地域社会や家庭については、青少年の学校外活動の充実を図るとともに、人間形成の基礎を培う家庭教育に対する支援を充実します。

学校においては、道徳教育や教育相談等を一層充実します。特に、いじめの問題については、依然として憂慮すべき状況にあることから「弱い者をいじめることは人間として絶対に許されない」という強い認識に立ち、家庭、学校、社会が一体となった取り組みが一層強化されるように努めます。また、児童生徒の薬物乱用問題が極めて深刻な事態にあることから、関係省庁とも連携を図りながら、薬物乱用防止に関する指導の格段の充実に努めます。

そして、大人たちが手を携えて心豊かな子どもたちをはぐくむ国民的機運を醸成するため、各方面への訴えかけを行っていきたいと考えています。

現在、このような点にも、配慮しつつ、中央教育審議会では「幼児期からの心の教育の在り方」について審議していただいております。今年前半を目途に取りまとめていただきたいと考えておりますが、その結果を踏まえ、心の教育の充実を図ってまいります。

（中高一貫教育の導入など教育制度の改革・弾力化）

教育システムをより柔軟な構造にしていく観点から、昨年六月、中央教育審議会は中高一貫教育などについて提言しました。

私は、中高一貫教育は、子どもや保護者の選択の幅を広げるとともに、学校制度の複線化構造を進める第一歩として、大変有意義であると考えます。次期通常国会には、中高一貫教育を平成十一年度から選択的に導入することを目指して、所要の法律案を提出します。

また、併せて多様な生徒の実態に対応し一人一人の個性を最大限に伸長させる視点に立って、総合学科や単位制高校の設置、高等学校入学者選抜の改善等、様々な施策を進めてまいります。

◇

（学校の教育内容の再構築）

二〇〇三年度を目途に、完全学校週五日制が導入されます。私は、小学校や中学校などの初等中等教育の段階の教育の目指すべきところは、やはり、ゆとりの中で、子どもたちが基礎・基本をしっかりと身に付けるとともに、自ら課題を見つけ、自ら考え、問題を解決していく力を養うことではないかと思います。このために、教育内容を厳選するなど、学校の教育内容を見直し、再構築してまいります。

昨年十一月には、教育課程審議会において、教育内容の厳選や授業時数の縮減、選択学習の幅の拡大、「総合的な学習の時間」の創設などについて提言した中間まとめを公表しました。引き続き、各学校段階、各教科等ごとの教育内容について具体的に審議していただき、本年夏頃には結論が明らかになり、二十一世紀を見通した学校教育の在り方を問い直すための基本的な方向性が示されました。

橋本内閣が掲げる六大改革の柱の一つである教育改革が、大きな一歩を踏み出したわけであります。

新しい教育課程の基準の改善の中で、学校行事としての修学旅行がどう評価され位置付けられるのか、深い関心と大きな期待を有するところであります。

この時に当たり、不惑の年を迎えた全修協は、時代の流れに軽々に流されることなく、またいたずらに過去の実績に恋々として執着することなく、時に必要あるときは古きを捨てて新しきにつく勇気と決断をもって、新時代にふさわしい修学旅行の実現と、文化厚生事業としての教職員研修旅行の拡充による教育福祉の向上とを基本事業として、教育研究財団として課された公共的使命の達成を期して努力を傾けてまいる所存であります。

文部省はじめ関係諸機関・団体のみなさまの一層の御指導と御支援とをお願い申しあげ、年頭に当たってのごあいさつといたします。

21世紀を勝ち抜く教育研究財団をめざして

財団法人　全国修学旅行研究協会
理事長　鈴木　力

平成十年戊寅の歳を迎え、みなさまの御健勝と御活躍を心からお慶び申しあげます。

さて、全修協はお陰さまで昨年十一月八日、財団法人として満四十周年の記念すべき年を迎えました。論語に言う「四十而不惑」とする節目の年を迎えたわけであります。

この四十年間を振り返って、全修協は、望ましい修学旅行・より良い修学旅行の実現をめざす運動を通じて、我が国の教育の振興に貢献する数々の業績を残してまいりました。

その幾つかを列挙すれば、「恵まれない条件下の子どもたちに対する修学旅行費・校外学習費の国庫補助制度の実現とその充実」「輸送の安全快適性を確保するための、専用電車による連合輸送体系の確立」「教育性の充実をめざしての全国研究大会やセミナーの継続開催」「文化厚生事業としての全国教職員研修旅行による教育福祉の向上改善」などであります。

これらの業績は、これまで全修協の運動を献身的に支えていただいた先輩諸士の血と汗の結晶であり、何ものにも代えがたい貴重な財産であります。

全修協が在る限り、将来にわたって継承され充実していかなくてはならないものであると同時に、また新しい世紀にふさわしい内容に修正していく必要もあると考えます。

さて、いま教育界の大きな動きとして、昨年十一月十七日教育課程審議会の中間まとめが発表され、平成八年八月から一年余りにわたる初中教育の教育課程全体の改善の基本的方向についての総括的な検討の経過をいただいて、新しい学習指導要領の改訂に取り組むこととしています。

◇

（省庁再編）

行政改革会議の最終報告では、二十一世紀の日本にふさわしい行政システムへの転換を図るため、中央省庁を一府十二省に再編することが示され、文部省は科学技術庁と統合し、新しい省となることとなっています。

私は、この統合は、科学技術の振興と教育が一体となることにより、かなりプラスを生み出すものであると思います。科学技術庁との密接な連携協力を図りながら、両者の統合により、新しい世紀における教育、学術、スポーツ、文化、科学技術に関する行政が時代の要請に的確に対応し、ますます充実していくよう、そのための準備を進めてまいりたいと考えております。

以上、文教行政に対する私の基本的な考えを述べました。国民各位の一層の御理解と御協力をお願いします。

風紋

一月十五日、今年成人を迎える女性たちをはじめ、全国の弓道者が京都三十三間堂で弓の引き初めを行う▼三十三間堂で行うのは、江戸時代に大矢数を競い、記録を掲額したことにちなむ。「翁草」によれば、一六六九年、尾州藩士星野勘左衛門は一昼夜に八〇〇八本を射通し、一旦破られた記録を更新した。一方、再び追い抜かれた紀州では和佐大八郎が一六八六年、八一三三本を射抜いて面目を施し、以後その記録は破られていない▼大矢数と言えば、同じころ大阪住吉大社で俳諧の数を競った西鶴を思い出す。先ず一六〇〇句で人々をあっといわせた彼は、破られると一気に四〇〇〇句を詠み、更に一六八四年には、一昼夜に二三五〇〇句を詠んだというからすさまじい。「俳諧の息の根とめん大矢数」は、そのときの第一句としてよく知られる▼長野オリンピックの年。スラップスケートの登場で期待が大きいが、百分の一秒を競う選手たちは真剣そのものだ。「記録は破られるためにある」と言われるが、どんな記録が出るか楽しみだ▼また昨年末には、JRのリニアモーターカーが、有人・無人とも鉄道の走行最高記録を塗り替えた。有人走行ではフランスの五一五キロを破る五三一キロ、無人では五五〇キロに達した▼修学旅行の専用列車に、リニアモーターカーが利用される初夢を見た。二十一世紀には、実現可能な「夢の超特急」になることだろう。（北）

新年を迎えて

順不同

生きる力を育てる

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会
会長　岡村政彦

謹んで新年のお慶びを申しあげます。

昨年は教育課程審議会から教育課程の基準の改善の基本方向について、「自ら学び自ら考える教育」への転換を目指すことの提言がなされました。いよいよ教育改革への大きな局面を迎えます。

本会の事業では特に全修協と共に本連合委員会が主催し、第十四回全国修学旅行研究大会が埼玉県浦和市で多くの皆様の御協力により盛大に開催できました。今後も修学旅行が、人から学び自然から学びそして有形無形の文化遺産に触れて学ぶ貴重な総合学習の場として、各学校が英知を結集して時代のニーズにこたえる修学旅行を創造していくことが期待されます。

今後とも三地区の修学旅行委員会の連携を密にし、本年も子どもたちにとってよい年となりますよう祈念申しあげます。併せて皆様のますますご健勝とご多幸をお祈り申しあげます。

（関東地区公立中学校修学旅行委員会会長・浦和市立本太中学校長）

心に残る修学旅行を

東海三県中学校修学旅行委員会
委員長　榊原伸亮

謹んで新年のお慶びを申しあげます。

昨年は教課審の中間まとめや保体審の答申等が出され、教育改革が具体的に動き出した感を強く持った年でした。今、「生きる力」が育つためには、生徒が自主的に学んでいく積極性が求められています。

このことは、修学旅行についても同じことが言えます。修学旅行も随分と工夫され多様化されてきています。形はどうあれ、修学旅行が単独の行事としてあるのではなく、旅行までの学習活動としての過程があり、それが生徒のものになっており、友や自分を見直す機会となっているかが問題であります。生徒がいかに自主的にかかわっているかが大切であると思います。

東海地区では、連合体輸送の問題等があります。今年も生徒の心に残る修学旅行になるよう充分検討してまいります。全国の情報をよろしくお願い致します。

（愛知県宝飯郡小坂井町立小坂井中学校長）

総合的な学習の場を修学旅行で

近畿地区公立中学校修学旅行委員会
会長　新谷紀久男

謹んで新年のお慶びを申しあげます。

現在の社会は予測をはるかに超える速さで変化しています。来る二十一世紀の要領の改訂から始まり、中央教育審議会のまとめや教育課程審議会の中間まとめも出されました。

その中で「ゆとり、生きる力、体験学習、心の教育、総合的な学習、学校週五日制」など、豊かな人間性の育成が求められています。

これらのことを踏まえ、修学旅行で、自主性、実践的態度を育成するとともに、体験を通して、日本の自然や文化に触れ、教師と生徒、生徒相互の人間関係を深め、他人と協調し、思いやる心、感動する心など、人間としての生き方を深め自己を生かす能力を養うのにふさわしい総合的な学習の場にしたいものです。

（滋賀県彦根市立彦根中学校長）

「ゆとり」のなかで「生きる力」の育成を

「あおぞら号」近畿地区運営協議会
会長　里見喜一

謹んで新春のお慶びを申しあげます。

中央教育審議会は、これからの学校教育は、「ゆとり」の中で、「生きる力」をはぐくむことを目指し、個性を尊重することを大切にし、一人一人の能力・適性に応じた教育の展開の重要性を提言しています。

今回の教育改革をキーワードふうに表すと、「弾力化」、「公開性」、「体験重視」といえそうです。

子どもに「生きる力」を育成するには、自然体験や社会体験など実体験の機会を広げていくことが求められています。

そのため、修学旅行を含む集団宿泊的行事の充実を図ることが大切であります。

そして、集団生活への適応、人間関係の深化、自然との触れ合いなどを通して、豊かな人間性を育てていきたいと考えます。

（大阪市立開平小学校長）

二十一世紀に向けて研修旅行の課題

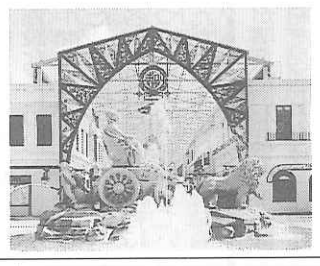
教職員福祉問題研究会
会長　長野猛彦

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係の皆様におかれましては、平素から弊社事業に対し格別の御高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

弊社は、沿線に伊勢志摩や奈良大和路等修学旅行に適した観光地を擁し、長年皆様方に御利用頂いておりますが、最近さらに諸施設が充実してまいりました。

具体的に申しますと、伊勢志摩では今年で五年目となります志摩スペイン村や次々に新しい観光船を就航させている鳥羽湾めぐり・賢島エスパーニャクルーズ、奈良では今年、平城京跡に朱雀門が復原されるなど、ますます魅力的な地域となってきております。



五年目の志摩スペイン村〝パルケエスパーニャ〟

今後も有意義で楽しい修学旅行をしていただくため努力してまいりますので、一層の御愛顧と御支援を賜りますようお願い申しあげます。

魅力的な伊勢志摩・奈良大和路へ

近畿日本鉄道株式会社
取締役社長　田代和

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係の皆様におかれましては、平素から弊社事業に対し格別の御高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

弊社は、沿線に伊勢志摩や奈良大和路等修学旅行に適した観光地を擁し、長年皆様方に御利用頂いておりますが、最近さらに諸施設が充実してまいりました。

具体的に申しますと、伊勢志摩では今年で五年目となります志摩スペイン村や次々に新しい観光船を就航させている鳥羽湾めぐり・賢島エスパーニャクルーズ、奈良では今年、平城京跡に朱雀門が復原されるなど、ますます魅力的な地域となってきております。

今後も有意義で楽しい修学旅行をしていただくため努力してまいりますので、一層の御愛顧と御支援を賜りますようお願い申しあげます。

一生の思い出づくりを快適な船旅で

関西汽船株式会社
取締役社長　江口壽一

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

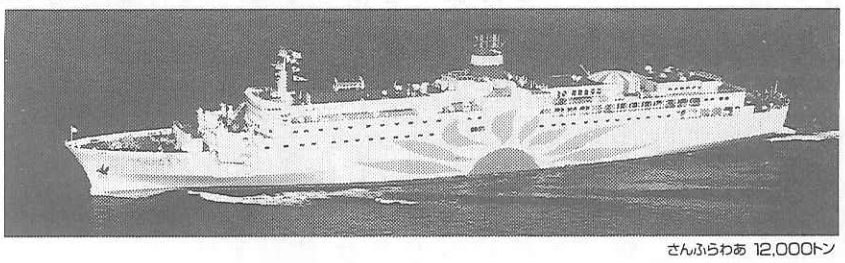
修学旅行関係者の皆様には平素より御支援御協力を賜り、誠に有り難く厚く御礼申しあげます。

弊社におきましては、昨年十二月六日、阪神別府航路に待望の新造客船フェリー『さんふらわあいばり』を就航させ、更に充実した船旅をご提供させていただくことになりました。

さて、最近の修学旅行は迅速性に目が向き、本来目的地までの道中で様々な体験をしたり、楽しむという観点が希薄になりつつあるのではないでしょうか。船上から波静かな瀬戸内海を間近に見ることのできる快適な船旅を満喫していただき、将来の夢を語り合うことで皆様の一生の思い出づくりのお役に立ちたいと考えております。

今後ともより一層の御愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の御健勝を心よりお祈り申しあげます。

KANSAI KISEN

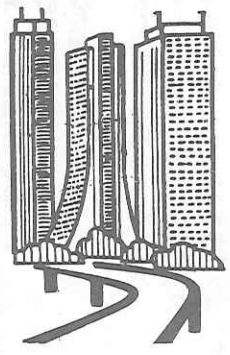


さんふらわあ 12,000トン

直行便：大阪南港・神戸⟷別府
松山寄港便：大阪南港・神戸⇌松山⇌別府

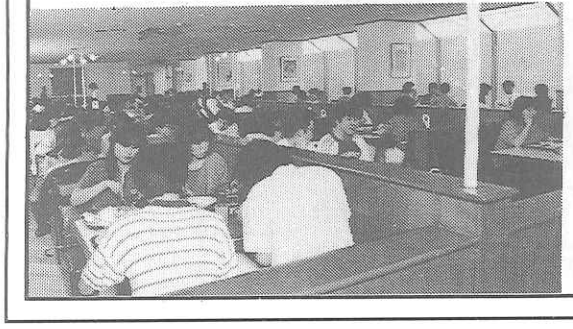
関西汽船　営業部船客課　大阪市港区弁天6-7-15　☎(06) 574-8500
東京支店　東京都中央区八重洲1-9-9　☎(03)3274-4273

首都東京を見て、何かを！

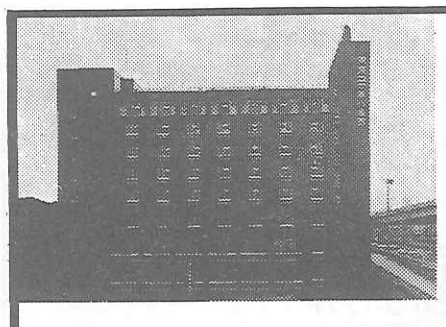


東京ドームもすぐ近く
お泊りは　都心の
経験豊かな
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113 東京都文京区本郷4—36—3 TEL 03—3813—9381

——修学旅行の楽しいお食事——
箱根彫刻の森美術館内
レストランコンポート



◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。
〒250-04
神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)2221（予約センター）



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL(03)3585—1046(代表)

東京コマ旅行会館